

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 048	提案機関名 横須賀市東部漁業協同組合
要望問題名 ナマコの資源生産調査	
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 東京湾の資源が減少している中で安定した沿岸漁業の生産が求められている。その中で最も漁業生産の少ない冬場の漁獲対象種として、近年、ナマコが必要不可欠なものになっています。そこで、資源管理型漁業への取組みにより今後もナマコ資源を持続的に利用するために。基礎的知見として東京湾におけるナマコの産卵並びに成長や生息の分布及び資源量を調査して頂きたい。また、資源を増やすための技術開発をお願いしたい。	
解決希望年限	☒ ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ☒ ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画研究部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ☒ ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 当所では、平成23、24年度に「東京湾ナマコ資源増大調査」を実施し、共第1号共同漁業権漁場についても資源調査等を行い、その調査結果等を貴漁協組合員に説明し、休漁期間の設定や漁獲量の上限等の資源管理について提案いたしました。それについて漁業者の皆様と相談し休漁期間の設定と漁獲量の上限を定めたり、横須賀支所のナマコ桁漁業者2、3ヶ統が記録した操業日誌を元に当所が資源量を推定し、翌年の漁期を決めるなど、ナマコ資源を持続的に利用する取組みに協力してまいりました。 以前のように操業日誌をいただけるようであれば、資源管理協定の評価検証の一環として資源量の推定等を実施いたします。 なお、ナマコの生態調査等については、当面実施する予定が無く、説明する機会等がありましたら既往の資料等によりご説明いたします。			
解決予定年限	☒ ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			